

資料1 学科の配置と構成

1 学科の配置について

○ 中間まとめ「3 県立高等学校の適正配置」より抜粋

「本県の県立高等学校については、教育の機会均等に加え、高校教育の質的水準の維持・向上の観点から、県内各地区の中学校卒業生の推移、学科のバランス、地域のニーズ及び生徒・保護者の希望を踏まえ、全県的な視野に立って、学校、学科を適正に配置する必要があると考える。」

【参考】平成24年度県立高等学校(全日制)の通学区域と配置()の数字は募集学級数)



平成24年度 大学科別 学校数・学級数一覧(全日制)

	東 部		中 部		北 部		西 部		合 計	
	学校数	学級数	学校数	学級数	学校数	学級数	学校数	学級数	学校数	学級数
※1 普通科	3	(15)	5	(34)	3	(14)	5	(24)	16	(87)
農業科			1	(3)	1	(2)	2	(6)	4	(11)
工業科	1	(6)	1	(7)	1	(4)	2	(9)	5	(26)
商業科	1	(5)	1	(6)	1	(4)	3	(8)	6	(23)
家庭科			1	(4)	1	(1)	1	(1)	3	(6)
総合学科	1	(4)	1	(4)	1	(3)	1	(3)	4	(14)
合 計	6	(30)	10	(58)	8	(28)	14	(51)	※2 38	(167)

※1 普通科には理数科を含んでいる。

※2 複数学科を併置している高校が2校あるため、実際の学校数は36校である。

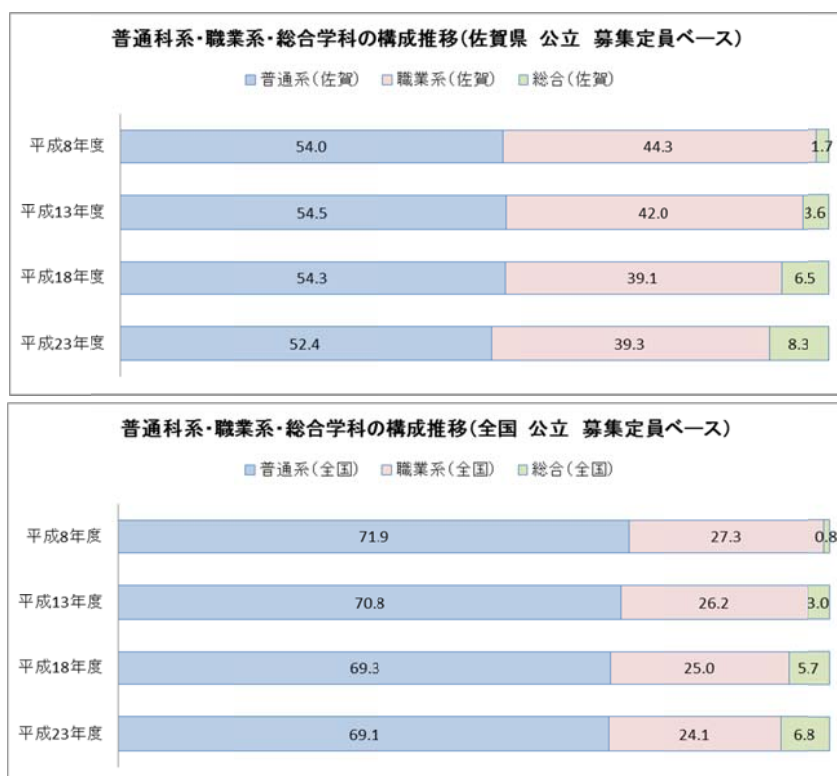
2 学科の構成について

- 平成14年度の県立高等学校再編整備第一次実施計画時に目安としていた学科構成比と比べると、本県は普通科の割合が低く、職業系専門学科の割合が高い。一方、総合学科の比率は目安とした構成比に近い状況である。

	普通科	総合学科	農業科	工業科	商業科	家庭科	その他
一次再編計画での概ね23年度までの目安構成比(%)	56 ↳ 58	9 ↳ 10	4 ↳ 5	13 ↳ 14	13 ↳ 14	3	—
23年度の佐賀県の構成比(%)	52.4	8.3	6.5	15.5	13.7	3.6	—
相当学級数	88	14	11	26	23	6	—
23年度の全国の公立高校構成比(%)	69.1	6.8	4.0	9.9	7.9	1.1	1.2
24年度の佐賀県の構成比(%)	52.1	8.4	6.6	15.6	13.8	3.6	—
相当学級数	87	14	11	26	23	6	—
24年度の全国の公立高校構成比(%)	69.1	6.9	4.0	9.8	7.8	1.1	1.2

(注) 致遠館高校理数科は普通科に含む。

- また、本県及び全国の公立高校の普通科系学科、職業系専門学科及び総合学科の構成は募集定員の比率で次のように推移している。



- 本県の普通科の割合は、全国の状況に比べると、本県は普通科系の割合が低く、職業系の割合が高い。総合学科の割合は、全国よりやや高い状況である。
- 卒業後の状況を見ると、本県の生徒は普通科卒業生は進学者、特に大学進学者の割合が多い状況であり、職業系専門学科卒業生は就職者の割合が高い。
- また、総合学科については総合学科に改編後、生徒の進路状況は多様になり、学校による差はあるものの、改編前より進学する生徒の割合は増え、県全体では、進学する生徒と就職する生徒がほぼ同率となっている。
- 現状では、それぞれの学科が本来の役割を果たしているといえるが、今後、教育内容を一層充実させ、学科の活性化を図る必要がある。